

第4期幸区区民会議 第8回専門部会（みんなで見守りたい）

日時 平成25年8月26日（月）午後6時半開始

場所 幸区役所 5階第3会議室

議 事 次 第

- 1 調査審議の方向性について
- 2 高齢者等の見守り体制づくりに向けたマニュアルのあり方について
- 3 ヒアリングの実施について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 その他

今後の区民会議日程について

○第9回専門部会（みんなで見守りたい） 平成25年9月25日（水） 午後6時半開始

「みんなで見守りたい」における調査審議について

1 第8回みんなで見守りたい（8月26日開催）

- （1）調査審議の方向性についての確認（資料1）
- （2）「高齢者等の見守り体制づくりに向けたマニュアルのあり方」の確認（資料2、資料3）
- （3）見守り活動に関するヒアリングの対象団体等の決定（資料4）

見守り活動実施団体、地域包括支援センター等へのヒアリングの実施

2 第9回みんなで見守りたい（9月25日開催）

- （1）ヒアリング結果の確認
- （2）第8回部会における指摘事項及び見守り活動実施団体へのヒアリング結果を反映させた、「高齢者等の見守り体制づくりに向けたマニュアルのあり方」の確認

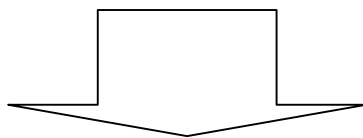
見守り活動実施団体、地域包括支援センター等へのヒアリングの実施

3 第10回みんなで見守りたい（10月30日開催）

- （1）地域包括支援センター等へのヒアリング結果を反映させた、「高齢者等の見守り体制づくりに向けたマニュアルのあり方」の確認
- （2）第4期区民会議報告書における「みんなで見守りたい」の提言事項の掲載内容の確認

4 第11回みんなで見守りたい（12月11日開催）

- （1）第4期区民会議フォーラムにおけるパネリスト（報告者）及び報告内容の検討



第5回全体会議（2月3日開催）
区民会議フォーラム（3月16日開催）

高齢者等の見守り体制づくりに向けたマニュアルのあり方（案）

1 マニュアルの作成に向けた基本的な考え方

- (1) マニュアルにおける見守り活動とは、「ひとり暮らしの高齢者等に異変があった時に、周囲の人たちがいち早く気づけるよう、日頃から気をかけ、様々な形でつながりを作っていくこと」をいう。
- (2) マニュアルの策定により、ひとり暮らしの高齢者等の見守りに携わる人の裾野を拡大することを目標とする。
- (3) 活動の内容としては、「見守りが必要な人の困りごとの早期発見」や、「関係機関への通報・情報提供」などを行うことを想定する。

2 見守り活動の対象者と期待される効果

(1) 見守りが必要な人

ア 対象者

一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯等

イ 期待される効果

(7) 周囲からの孤立化の防止

(4) 交通事故や火災、盗難等の犯罪被害に巻き込まれるリスクの低減

(5) 問題を早期に発見することで、問題の複雑化・深刻化の防止

(2) 見守り活動に参加する人

ア 対象者

(7) 住民（近隣住民、学校の児童・生徒、通勤者、自営業者 等）

(4) 地域の組織（町内会・自治会 等）

イ 期待される効果

(7) 住民間交流の促進

(4) 福祉制度への理解の促進

地域への波及効果

「安心・安全のまちづくりの実現」

「地域の一体感の醸成」

3 見守り活動の心がけ

(1)無理をしない

ア 無理をせず、できることを行う。

イ できないことは、町内会・自治会、区役所、民生委員児童委員、社会福祉協議会等に相談して解決を図るようにする。

(2)相手の立場に立つ

ア 「やってあげている」といった態度にならないよう、対等な立場で向き合うようにする。

イ できる限り、さりげない見守りを心がけるとともに、プライバシーを尊重するよう心がける。

(3) 個人情報の適正管理に留意する※

ア 個人情報の収集は、必要最低限に留める。

イ 個人情報は、他に口外しない。

ウ 個人情報の外部提供は、原則として、本人の了解を得た上で行う。

4 見守り活動の進め方

①次のチェックリストを参考に、気になることを把握する。

《チェックリスト》

- ☐最近見かけない
- ☐洗濯物が夜になっても干したまま
- ☐暗くなっても家に灯りがつかない
- ☐窓、カーテン、雨戸が開閉された様子がない
- ☐新聞、郵便物が数日分たまっている
- ☐いつも同じ服や季節に合わない服を着ていたり、服が汚れたり破れている
- ☐家から怒鳴り声や物を投げつける音が聞こえる
- ☐具合が悪そうに見える
- ☐ごみが放置されていたり、庭が荒れている
- ☐近隣とのトラブルが目立つ
- ☐服が汚れていたり、異臭がする
- ☐見慣れない人が頻繁に訪ねている

②チェックリストに掲げる項目に該当するようなケースを発見した場合には、発見者が関係機関等に連絡をする（対応方法については今後整理。）。

5 幸区内における見守り活動事例の紹介【資料3】

- ・川崎市地域見守りネットワーク事業
- ・民生委員・児童委員活動
- ・ふれすこサポーター活動
- ・会食会、ミニデイケア活動
- ・わたしのまちのすこやか活動
- ・老人クラブ友愛訪問活動
- ・高齢者緊急通報システム
- ・徘徊高齢者発見システム
- ・徘徊高齢者SOSネットワーク
- ・福祉電話相談事業
- ・生活支援型食事サービス事業
- ・災害時要援護者避難支援制度

6 見守り活動の事例紹介【資料4】

地域で行われている個人や団体による活動事例等については、今後、ヒアリング等を実施しながら掲載する情報を決定する。

※ 見守り活動を円滑に行うための個人情報保護法令の考え方の紹介

- ・平成17年4月に施行された個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）において、同法による義務の対象となるのは、5,000人分を超える個人情報を事業活動に利用する事業者となっている。そのため、見守り活動を行う個人や地域の組織に、個人情報保護法による義務が課せられることはほとんど想定されない。
- ・しかしながら、見守り活動を通じて収集された個人情報が不適切な取扱いをされれば、見守り活動そのものに対する信用が損なわれることになる。そのため、個人情報保護法の義務が課せられていないからこそ、見守り活動を行う個人や地域の組織には、個人情報を適切に保護する仕組みを自ら確保する必要がある。

幸区で実施されている主な見守り活動の事例

	事業名等	見守る人	見守りの方法
1	民生委員児童委員活動	民生委員児童委員	・高齢者、障害者、子育て中の家庭、生活困窮家庭など生活のことで悩みを持っている方の気軽な相談窓口として、日常的な訪問や声かけ、安否確認、悩み相談等を通じて見守りを行う。
2	町内会・自治会活動	町内会・自治会役員等	・夜間パトロール登下校時の見守りなどを中心に、それぞれ独自の活動をしている。
3	川崎市地域見守りネットワーク事業	協力事業者（LPガス協会、京浜新聞販売組合、コープかながわ等）	・ガス交換、新聞配達時等の通常業務のなかで見守りを行う。 ・異変のある場合は、各区保健福祉センター関係部署等に連絡をする。
4	ふれすこサポーター活動	ふれすこサポーター講座修了生	・高齢者福祉について学んだ講座修了生が、日常的な見守りを行う。
5	会食会、ミニデイケア活動など	区・地区社会福祉協議会	・老人いこいの家、陽だまり等で会食会等を通じて見守りを行う。
6	わたしのまちのすこやか活動	ボランティア団体等（区内4団体）	・健康づくりや介護予防、閉じこもり防止の活動を行う。
7	老人クラブ友愛訪問活動	老人クラブ（友愛チーム、区内に69）	・月2～4回程度の訪問で、話し相手や日常生活の援助を行う。
8	高齢者緊急通報システム	サービス提供事業者	・65歳以上の心臓疾患等の日常生活に注意を要する人等を対象に、緊急ペンダントやガスセンサーにより、異変を通報する。
9	徘徊高齢者発見システム	家族やサービス提供事業者	・徘徊のおそれがある人に専用端末を持ってもらい、行方不明時に電波をキャッチし、現在地を把握する（月額2,000円）。
10	徘徊高齢者SOSネットワーク	関係機関（行政、地域包括支援センター、警察署、区社会福祉協議会、ボランティア団体等）	・事前に登録することで、徘徊高齢者が行方不明になった時に、関係機関に必要な情報を流し、発見の手助けをする。
11	福祉電話相談事業	老人福祉電話相談センター	・相談員が定期的に電話をかけて、安否の確認をし、各種の相談にも応じる。無料（通話料は自己負担）
12	生活支援型食事サービス事業	サービス提供事業者	・自宅への食事届け時（週2食～7食）に、併せて安全確認を行う。
13	災害時要援護者避難支援制度	町内会・自治会、自主防災組織、民生委員・児童委員等	・災害時の安否確認や避難誘導を円滑に行うため、事前に支援体制を確立しておく。

見守り活動に関するヒアリングの対象団体等について

- 1 アンケート調査により把握した団体（アンケート調査で「見守り活動を行っている」と回答した 39 団体のうち、29 団体に電話調査）

（1）河原町 3 号館自治会

- ・各階で、清掃も兼ねた毎日の見守り活動をしている（各世帯で任意の時間にフロアを見回り、終わったらチェック表に記入する。）。
- ・1～3号館の合同で、毎日夜9時からのパトロールをしている（1週間を1つの自治会が担当し、それを持ち回って運営）。3号館自治会では、6世帯を1グループとして、担当週の7日間を持ち回りで運営）。

（2）河原町 13、14、15号棟自治会

- ・自治会、民生委員、管理組合からなるグループ（総勢15名程度）で、月1回、70歳以上で1人暮らしの高齢者を月1回訪問している（元気そうな人は、3か月に1回程度）。
- ・緊急連絡先は管理組合が把握しているので、異変を察知した時は、管理組合に一報を入れている（通常、自治会では個人情報にアクセスしない。）。

（3）柳町自治会

- ・77歳以上の高齢者が住んでいる家をプロットした地図を作成している。
- ・民生委員との個人情報の共有による見守り体制の構築を検討している。

（4）ラゾーナ川崎レジデンス自治会

- ・月1回、老人会でイベントを開催しており、その中で、いつも参加する人が欠席した場合などに、自宅を訪問するなどの見守り活動を行っている。

2 見守りノウハウを学べる福祉関係機関・事業者

マニュアルの概要・骨子案が固まってきた段階で、マニュアルに対する専門家の視点からのアドバイスを得ることを目的とする。

- （1）地域包括支援センター（毎月第2火曜日（9/10、10/8）に「センター長会議」実施）
- （2）川崎市介護支援専門員連絡会（ケアマネ）

3 他組織事例

（1）福祉協力委員制度（中原区）

- ・丸子地区の地区社協及び地区民協が、ボランティアによる月1、2回の高齢者の見守り（新聞の滞留等をチェック）を呼びかけ

- ・ ボランティアは、何かあった場合にのみ民生委員に連絡

(2) なぎさニュータウンの見守り活動（江戸川区）

- ・ 「フロア幹事」によるフロア単位での見守り活動
- ・ 自治会に専門組織として「高齢者対策部」を設置し、見守り活動を担当
- ・ NPO法人との連携（「やまびこ電話（電話による定期的な安否確認）」の実施等）

(3) 高齢者見守り支援ネットワーク事業（日野市）

- ・ 地域包括支援センターを中心としたネットワークのなかで、ふれあい見守り推進員（市に登録しているボランティア）が、玄関先での挨拶（月に1回）、さりげない見守り（おおよそ週1回）を実施
- ・ 日野市福祉事業団が、「ちょこっと困りごとサービス」として、「専門技術を必要としない概ね30分以内で終了する作業」について、1回300円で登録している協力員（地域住民）を派遣

「第4期幸区区民会議」スケジュール(案)(平成25年8月26日現在)

資料5

	平成24年度										平成25年度													平成26年度
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月		
■ 全体会議	7/23 第1回				11/12 第2回				3/18 第3回				7/8 第4回							2/3 第5回	3/16 「第4期区民会議フォーラム」の開催	「報告書」のとりまとめ等		
■ 企画運営部会				10/29 第1回					3/11 第2回			6/24 第3回							1/20 第4回					
■ 専門部会 暮らしの安全部会			9/3 第1回	9/26 第2回		12/14 第3回	1/23 第4回	2/15 第5回		4/19 第6回	5/27 第7回		8/7 第8回	8/28 日中ワークショップ	9/20 第9回	10/6 スケアードストリート リレーカーニバルでの	11/1 第10回	12/13 第11回						
■ 専門部会 みんなで見守りたい		8/30 第1回		10/3 第2回		12/12 第3回		2/4 第4回	2/26 第5回	4/22 第6回	5/29 第7回		今日の会議	8/26 第8回	9/25 第9回	10/30 第10回		12/11 第11回						